



1. たくさんの光が入るように、どこにいても外の景色が楽しめるようにと、部屋にも階段にも設けられている窓。自然の風景を取り入れることで、日々の暮らしにゆとりと潤いがもたらされる。
2. 家中を優しいぬくもりで満たしてくれる薪ストーブ。黒い煙突やシーリングファンは、淡い室内でほどよいアクセントにもなっている。
3. 明るく機能的なサニタールーム。調湿作用や消臭効果のある漆喰の壁が留守を守り、常に快適な状態にしてくれる。
4. リビングから続くウッドデッキ。遅い朝食を摂ったり、バーベキューをしたり…、楽しみも広がる。
- 5-6. 山小屋風の洒落たガレージ。リビングへ直接出入りできるようになっていて、雨や雪の日も、濡れることなく荷物の出し入れができる。薪置き場もここに。

いっぱいの愛に  
包まれて  
木のぬくもりに  
抱かれて

15年の時を経て完成した  
念願の八ヶ岳の家。  
生命力に満ちた森のなか、  
自然の息吹に育まれ、  
いっぱいの愛に守られて、  
笑顔の花も咲いています。

想いを紡いで…

雑木林に囲まれたS様邸。澄んだ空気。時折風に揺れる木々。どこからか、鳥たちのさえずりも聞こえて来る。

窓の外を眺めながら、「良い所でしよう？もう少したつと木々が芽吹いて、森のなかのような雰囲気になる。とりわけ、新緑の季節はとてきれいなんですよ」と穏やかな表情で話すご主人に、「ここはなだらかな傾斜地になっていて、初めて来た日、一面にたんぼが咲いていたの。それで、「目で気に入ってしまったのよね」と、奥様が朗らかに応じる。

S様ご夫妻がこの土地を手に入れたのは、15年以上も前。週末や長期休暇を過ごすセカンドハウスを建てようと話を進めていたが、折からのリーマンショックの影響で計画がとん挫。以後そのままになり、近年は売りに出していたという。

「それが、孫娘ができて、ふと考えたら『夏休みに遊びに行ける田舎が無い！』と。それで、どうしようかと話していたとき、娘が、『せっかく八ヶ岳に土地があるんだから、あそこに私がローンを組んで

家を建てるから、そこをこの子のふるさとにしようよ』って言うてくれたんですよ」。

時を経て、再び動き出した時計。縁のない土地に建てるのだから、地元をよく知る工務店にお願いしたいとパートナーを探すなか、出会ったのが、浅川建工だった。





こだわりのテイストにお応え致します。



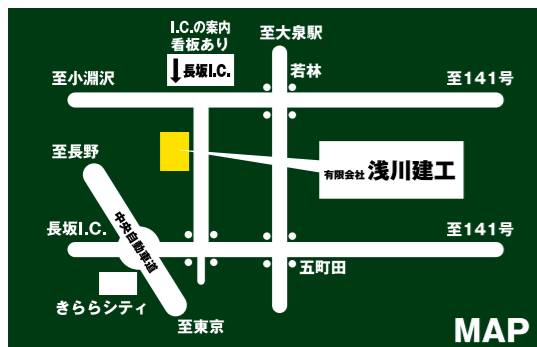
アイデアでつくる。情熱で設計する。  
住まう人の想いをつないでいきます。



Asakawa Kenko  
有限会社 浅川建工  
代表取締役 浅川 重直

<http://www.a-kenko.jp/>  
E-mail : info@a-kenko.jp

〒409-1501 山梨県北杜市大泉町西井出2284-2  
TEL : 0551-38-0165 FAX : 0551-38-0467



7. 日当たりが良く居心地の良い2階ホールは、遊び場にも客室にもなる使い勝手の良いスペース。  
8. 天窓はお嬢さんの唯一の要望。「夜になると、星空がきれいに見え、月明かりも入ってきて、とてもステキなんですよ」  
9. 大きな収納のある個室は、奥様の部屋になる予定。  
10. ご主人の部屋は、お気に入りの本やオーディオが並ぶまさに「男の城」。天井を貼らなかったことで、音が響き、大好きなクラシックがより楽しめる部屋になった。

### 数年後には夫婦で移住し、孫娘のふるさとに。

昨年10月に完成したS様邸。今のところ、誰よりもこの家を楽しんでいるのは一足先にリタイアしたご主人で、月に2〜3度は単身訪れ、気ままな八ヶ岳ライフを満喫しているそう。一方、奥様とお嬢さんは現役の教師。学級担任をしていて学期中は忙しく、「まだ数回しか来ていないわよね」「早くゆつくりしたいね」と、残念そうに顔を見合わせる。もともと、奥様も4〜5年後には永住したいとのこと、その日のためにいろいろと考えて

いるのよ」と、二冊のノートを見せてくれた。タイトルは「八ヶ岳に住みましょう」。思いが伝わってきて、あったかい気持ちになる。春からは庭作りも始めたいそう、昨年11月、チューリップの球根を1000個植えたの。それが今回、いくつか芽を出していたのね。次に来るのはゴールデンウィーク。どこまで成長しているか楽しみよね」と晴れやかな笑顔をみせる。  
「この家は、あの娘のためでもあるけれど、私から両親への恩返しでもあるんです。こうしてそれぞれ喜んでくれてるのを見ると、私も嬉しくなります」とお嬢

さん。優しいまなざしの先で、愛娘のSちゃんがキャットキャットと笑い声を上げながら、裸足のまま飛び跳ねていた。



### 森のなかで過ごす、心地よさを満喫

「森を感じながら暮らせる、シンプルなお家にしたかった」とご主人。無垢材と漆喰で作られた室内に満ちているのは、新鮮な空気。天然パインの床材がさらりと気持ちよく、あちらこちらの窓から差し込むやわらかな陽ざしが心地よく、ほんわりとした気持ちになつてくる。リビングの真ん中には薪ストーブ。真冬でも、この一台で家中が心地よい温かさには包まれるという。さらに、窓の外に広がる風景も、この家の大切な要素。まるで美しい絵のように、季節ごとに姿を変え、暮らしに潤いと広がりをもたらす。  
「お天気の良い日には、太陽の動きに応じて木漏れ日がきらめき、それが、影のようになって家の中を移ろっていく。それもすごくきれいなんですよ」と、にこやかに話す。「浅川さんは、私たちの想いを受け止め、この環境の良さを存分に味わいながら快適に暮らせる家造りしてくれました。それに、今も何かあるとすぐ連絡するのですが、時間をおかずに来てくれて、丁寧に対応してくれる。心強く、なくてはならない存在です。」

## HOUSE DATA & FAVORITE POINT

- 所在地: 北杜市
- 家族構成: 夫婦、子ども、孫
- 間取り: 2LDK+ホール
- 竣工: 2015年10月



### Favorite Point Of THE OWNER

#### ピクチャーウィンドウ



明るい家になるように、ふとした瞬間にも景色を眺めることができるようにと、できるだけたくさんの窓を作ってもらいました。なかでもこの窓は、サイズが大きく、まるで絵のように風景が切り取られてとてもいい。季節とともに変化する自然の姿を、常に感じて居られるのも嬉しいですね。

### Favorite Point Of HOUSING MANUFACTURERS

#### オフホワイトの漆喰の壁



当面は週末利用が主とのことだったので、留守中臭いや湿気が室内に籠らないように、壁には消臭効果や調湿作用のある漆喰を採用しました。久しぶりに訪れても、気持ちよく過ごせます。

浅川建工 / 代表取締役  
浅川 重直

### Favorite Points Of 晴耕雨読

#### 造り付けの家具



キッチンやサニタリー、部屋のなかにも、浅川建工オリジナルの家具が造り付けられていました。収まりが良くキレイですし、スペースにも余裕が生まれて、暮らしやすさに一役かってくれています。

晴耕雨読 / ライター  
萩原美穂